

過去の『さくマガ！』は
弊社 HP にて公開しております。
是非ご覧ください。



事務所
TOPIC

基準緩和のオンライン申請をやってみました！

令和4年より、道路運送車両の保安基準の緩和申請（以下、「基準緩和申請」）について、電子申請ができるようになりました。電子申請を行うことにより、運輸支局に出向くことなく、自宅や職場のパソコンでいつでも基準緩和申請が行えます。今回の記事では、実際に基準緩和のオンライン申請をしてみた感想をご紹介いたします。

実際にやってみて感じたメリット・デメリット

メリット

- 運輸支局に出向く必要がないので驚くほど手間が削減
- 基準緩和申請を行政書士に依頼しているのであれば、オンライン申請に対応している行政書士に代えることでコストカットが可能となる予感

デメリット

- 基準緩和申請（新規、継続）のうち継続にしか対応できていない
- システム利用のためにGビズIDが必要
- システム上、大容量のファイルが送れない

上記が実際にやってみて感じたメリット・デメリットです。このなかで、いくつかの項目について補足します。

メリット 手間を削減できる

最大のメリットは出頭不要となった点です。これによる手間が削減されたことは言うまでもありません。また、この手間の削減は、運輸支局についても言えるかもしれません。これまで対面でかつ、その場で申請書や添付書類に目を通さなくてはいけなかったことを考えれば、運輸支局の負担や手間も削減されているはずです。

メリット コストカットが可能となる

基準緩和申請を行政書士に依頼している場合はコストカットが可能になるかもしれません。行政書士に依頼する場合の相場は、1申請あたり8～15万円程度（佐久間調べ）ですが、これは運輸局まで出頭しなくてはいけないということを加味した相場だったのではないかと考えています。しかし、昨年からオンライン申請が可能になったために、徐々にこの相場が崩れる可能性があります。

基準緩和申請では「6ヶ月以上の輸送実績の整理」が一番手間のかかる部分です。仮に、この「輸送実績の整理」につい

て、運送事業者と行政書士の間でルール作りができるのであれば、弊所であれば1申請5万円程度でも十分業務として行つていけると感じました。

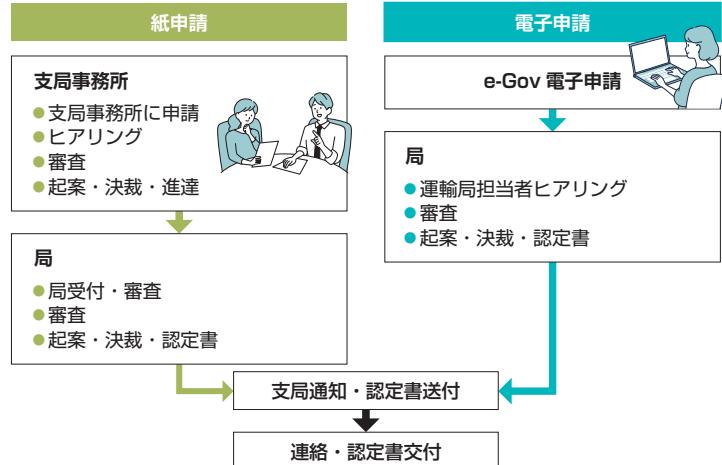
デメリット GビズIDが必要

オンライン申請は「e-Gov 電子申請」というWebサイトから行います。このログインのためにはGビズIDなるものを得る必要があります。GビズIDの取得には、印鑑証明書の取得、郵送での登録申請などの多少の手間がかかります。

なお、このGビズIDは様々な行政手続きや補助金の申請等にも活用することができる、基準緩和申請のオンライン申請をやらない場合でも取得しておくと便利です。

デメリット 大容量のファイルが送れない

基準緩和申請では、過去6ヶ月分のデータカードや点呼簿の提出が必要となる場面があります。さらに、積載物のカタログや車検証、連結検討書等もあわせると、添付ファイルの容量が膨大になります。しかし、システムがぜい弱であるため、添付ファイルの容量不足が発生し、すべてのファイルを送ることができないのです。ファイルの圧縮も試みましたが、やはり1度では送れません。



システムで送信できないファイルは2つの方法で提出することができます。1つ目は別途郵送で送る方法です。結局郵送で送らなくてはいけないのであれば、出頭不要ではありますがオンライン申請の意味があまりありません。2つ目は運輸局技術課の担当者にメールで送る方法です。こちらであればファイルを分割することによってオンラインで添付資料を送付することができるため、私はこちらをお勧めします。

佐久間の私見！

弊所は「特殊車両通行許可申請」を専門とした行政書士事務所としてスタートし、多くのお客様から「特車申請と基準緩和申請をセットで安くやってほしい」とのお声をいただきました。しかし、基準緩和申請はお客様と一緒に運輸支局に伺って行う必要があり、どうしても報酬を安くすることができなかったというのが現状でした。

オンライン申請がはじまることにより、弊所としても皆様のご要望にお応えできる条件が整ったと考えています。まだまだ勉強中ではありますが、今後も、より安く、より早く、より便利に基準緩和申請を行えるよう更なる研究を続けていきたいと考えています。



ウイルス性胃腸炎対策

身体が頑丈で自慢の佐久間の唯一の悩み、それは毎年寒くなってくると「ウイルス性胃腸炎」に罹るということです。結構辛いため、これまで色々調べながら対策を打ってきました。そして、このようにウイルス性胃腸炎対策に関する記事を書いているということは……そう！昨冬はウイルス性胃腸炎に罹らなかったのです。もしかしたら今回の対策が有効なのではないかと考えたため紹介します。なお、これは医学的な知見ではなく、あくまでも私見ですので眉唾で読み進めてください。

ウイルス性胃腸炎ってなに？

ウイルス性胃腸炎とは、ウイルスが胃腸に入り込む感染症です。感染すると、急に吐き出したり、下痢をしたりします。原因となるウイルスとして、口タウイルス、アデノウイルス、ノロウイルスなどが有名です。

昨冬の対策！

私は毎年、見事にウイルス性胃腸炎に罹っていました。身体は丈夫そうに見えても胃腸は相当弱いのかもしれません（笑）私のように毎年ウイルス性胃腸炎に悩む方は実は多いのではないでしょうか？それがなんと、昨冬は罹らなかったのです。

対策は、「就寝前にエビオス錠10錠、新ビオフェルミンS錠3錠を服用」しただけです。

オススメの錠剤① エビオス錠

「ウイルス性胃腸炎」という病名には「胃」という漢字が含まれています。そこで、胃を常に元気な状態にして

おけば、ウイルスに負けない強い胃が実現できるのではないかと考えました。エビオス錠の効能・効果の部分には「胃弱」と記載があったので、胃を強くするためには効きそうだと思ったのが服用のきっかけです。

ただ注意も必要です。不確かなネットの情報によると、エビオス錠には「食欲」が強くなるという副作用があるそうです。たしかに、私はエビオス錠を飲み続けてから食欲が強くなり、太ったような気がしています……エビオス錠のせいではなく、太った言い訳にしたかっただけかもしれません（笑）

こちらのエビオス錠は1日3回（1回10錠）の摂取が目安とされていますが、私は寝る前のみ10錠服用していました。

オススメの錠剤② 新ビオフェルミンS錠

「ウイルス性胃腸炎」という病名には「腸」という漢字も含まれています。そこで、腸内環境を正常化させることで、ウイルス性胃腸炎が防げるの

ではないかと考えたのが服用のきっかけです。これに加え、一昨年ウイルス性胃腸炎に罹った際に処方されたのが、ビフィズス菌顆粒でした。医師が処方したとなると、何か効果がありそうな気はしませんか？（笑）

新ビオフェルミンS錠は1日3回（1回3錠）の摂取が目安とされていますが、これまた私は寝る前のみ3錠を服用していました。

同じ悩みを持つ皆さんへ

昨冬にウイルス性胃腸炎に感染しなかったことは私にとって大きな成果であり、これら二錠剤への信頼は非常に厚いものがあります。ただ、この話を友人に話したところ、「マスクをしてたことが一番効果として大きかったんじゃないかな」と反論されました（笑）しかし、一昨年はマスクをしていたにも関わらずウイルス性胃腸炎に罹っています。マスクが有効であるでは説明がつきません。

この情報が、ウイルス性胃腸炎に悩む、隠れウイルス性胃腸炎被害者の一助となれば幸いです（笑）

アサヒグループ食品 エビオス HP
<https://www.asahi-gf.co.jp/special/ebios/>

ビオフェルミン製薬株式会社 HP
<https://www.biofermin.co.jp/>